

発行●三愛石油株式会社ガス事業部・保安技術室 TEL. 03-6880-3080 FAX. 03-6880-3031

このたびの令和2年7月豪雨で被災された皆様に心よりお見舞いを申し上げます。

## 令和2年7月豪雨、九州などで容器が埋没・流出

梅雨前線の停滞による7月4日からの「令和2年7月豪雨」で、土砂崩れや冠水などによる停電や都市ガスの供給停止が相次ぐ一方、LPガス容器の埋没や流出も目立ちました。ただ、7月15日現在、この豪雨によるLPガス関係の二次災害は報告されていません。

経産省は大分県日田市内での容器流出を受け、7月9日にHP上で、発見したら容器に記載されている所有者、またはLPガス協会に連絡するとともに、「みだりに触れない、移動させない」「ガス臭くなくても、容器周辺では火気を使用しない」よう注意を喚起しました。

### ■高圧ガス・LPガス関係の被害・対応状況（経産省、7月15日現在）

#### ●高圧ガス

- ・大分県日田市内で20kg容器（工事用）2本が流出。
- ・佐賀県太良町の養鶏場が倒壊し50kg容器72本が埋没（回収完了）。
- LPガス備蓄基地・充填所・消費先
- ・熊本県天草市の充填所で配管が損傷しガスが漏えい（対応完了）。
- ・鹿児島県鹿児島市で容器が埋没（二次災害の危険は低い、被災家屋の取扱いが決まりしだい回収予定）。
- ・熊本県の人吉市・八代市・天草市で、それぞれ数本の容器が流出（河口域で、海上保安庁が浮遊容器17本を回収。また、販売事業者も約10本を回収）。
- ・福岡県の糸島市・大牟田市・八女市矢部村でそれぞれ容器2本が埋没（復旧・対応完了）。
- ・同県浮羽市で容器6本が流出（確認しだい回収予定）。
- ・広島県三次市で容器5本が流出。うち2本は回収、残り3本が流出（確認しだい回収予定）。
- ・岐阜県下呂市で7戸の各2本程度の容器が埋没。うち3戸は回収済み。容器2本が流出（確認しだい回収予定）。

## 湯沸器・ふろがまなど特定保守製品から除外へ

経済産業省・消費経済審議会の製品安全部会が6月30日に開かれ、経産省から、長期使用製品安全点検制度の点検対象製品（特定保守製品）から屋内式ガス瞬間湯沸器（LPガス用、都市ガス用）や同ガスふろがま（同）など5製品を外すべきではないかとの考え方が示されました。技術基準の強化やメーカーの改良努力によって、平均ppm量が制度創設当時（2009年）に比べ、選定基準である1ppm（百万分の1）を大きく下回ってきているためです。これにより、特定保守製品は石油給湯機と石油ふろがまだけになります。

### ■経産省（製品安全課）案のポイント

- 特定保守製品から外すのは、ガス瞬間湯沸器、ガスふろがまのほか、FF式石油温風暖房機、ビルトイン式食器洗浄機、浴室電気乾燥機。
- 指定除外の改正施行令・省令の公布は2021年4月ごろとなる予定。
- 指定を外しても、経年劣化対策の技術基準の強化を通じたPSマーク規制で事故率の低減を図っていく考え。

## 自動車用の需要減が深刻化、5月は5割超も減少

走行台数の減少と燃費の向上で減少傾向にあった自動車用のLPガス需要が、新型コロナ問題での利用者減少により、さらに深刻な減退に追い込まれています。

日本LPガス協会が公表している「LPガス需給月報」によれば、自動車用販売量は2020年に入って月を追うごとに減り始め、前年同

月比では1月の89.6%（▲10.4%減）から4月には58.1%（▲41.9%）へ減少。5月はさらに47.0%（▲53.0%）にまで減退しました。

国は観光業や飲食業などの需要喚起、地域の活性化に向け、7月下旬から「Go To トラベル」（目的地が東京、東京在住者は除外）を開始しましたが、新型コロナ感染者は再び増勢にあり、成り行きが懸念されています。

需要の減少は家庭業務用でも続いており、5月は前年同月比91.3%（▲8.7%）へ落ち込みました。

月	家庭業務用	前年同月比	自動車用	前年同月比
1	779,687	94.3	44,626	89.6
2	746,918	93.9	42,298	88.1
3	748,795	99.9	40,778	80.8
4	645,802	95.7	29,518	58.1
5	512,885	91.3	22,181	47.0

## 国セン・経産省、スイッチング等で改めて注意喚起

（独）国民生活センターと消費者庁、経済産業省電力・ガス取引監視等委員会は7月8日、消費者に向けて、スイッチングなどの際には「電力・ガスの契約内容をよく確認しましょう」と呼びかけました。電気自由化から4年、都市ガス自由化から3年が経過しましたが、国民生活センターや各地の消費生活センター、電力・ガス取引監視等委員会には、消費者からの相談が引き続き寄せられています。最近では契約書面の交付や料金の算定に関する電力・ガス事業者の不適切な行為も報告されていることから、トラブルの再発防止に向けて改めて注意喚起とアドバイスを行いました。

窓口	分類	2019年 7～9月	10～12月	2020年 1～3月	4～6月
国民生活センター・消費生活センター等	電力	417	421	459	392
	都市ガス	30	22	38	41
経済産業省電力・ガス取引監視等委員会	電力	1,621	1,366	1,443	1,020
	都市ガス	247	149	188	95
合計		2,315	1,958	2,128	1,548

### ■消費者へのアドバイスのポイント

- 各社は新型コロナ下で、料金の支払いに柔軟な対応をしている
- 料金のプランや算定方法をよく説明してもらい、確認する
- 勧誘会社と新たに契約する会社の社名や連絡先を確認する
- 検針票の記載情報は慎重に取り扱う（重要な個人情報です）
- 契約を変更してもクーリング・オフ等ができる場合がある
- 契約している会社が事業撤退する場合等でもすぐには電気・ガスは止まらないが、早めに電力会社の切り替え手続きを行う
- 困った場合にはすぐに相談を（電力・ガス取引監視等委員会：03-3501-5725、消費者ホットライン：「188（いやや!）」番）

## 8月プロパン、CP365.00ドル、MB257.57ドルへ

8月積み込みCP（サウジアラビア輸入FOB価格）は、プロパン（P）はトンあたり365.00ドル、ブタン（B）は345.00ドルにすると輸入元売各社に通知がありました。前月に比べPは+13.89%、+5.00ドル、Bは+14.71%、+5.00ドルの上昇。一方、米・モントルビュー（MB）の8月適用プロパン価格（OPIS社発表）は257.57ドルで、前月に比べ+0.47%、+1.20ドル上昇しました。

配信ご希望の特約店様はメールアドレスを下記URLよりご登録ください。

※すでにご登録いただいている特約店様は不要です。

※ご不明な点は、オブリ担当セールスにご連絡ください。

【登録フォーム】 <https://obbli.info/obbli/>

※パソコン、スマートフォンからご登録ください。



Obbli